

令和7年2月26日

支援プログラムの公表状況に関する届出書

| | | | |
|------------------------|---|-----------------------|-------------|
| 届出区分 | 新規 | 変更（変更内容：） | |
| 法人名 | 社会福祉法人 ひいらぎ会 | | |
| 事業所名 | みらくる | | |
| (事業所番号) | 4650003504 | | |
| サービスの種別 | ①児童発達支援 ②放課後等デイサービス ③①・②の多機能 ④居宅訪問型児童発達支援 | | |
| 事業所所在地 (区市町村名) | さつま町 | | |
| 指定年月日 (児童発達支援) | 年 月 日 | 指定年月日 (放課後等デイサービス) | 平成27年年8月 1日 |
| 指定年月日 (居宅訪問型児童発達支援) | 年 月 日 | | |

【支援プログラムの公表状況】

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 公表の実施時期 | 令和7年2月 | | |
| 公表方法 | ① インターネット ② その他（） | | |
| | ①の場合は公表内容欄にURLを記載、②の場合は公表内容欄に詳細を記載 | | |
| 公表内容 | http://hiiragikai.net/ | | |

(別添資料1)

| | | | | | | |
|-----------|---|---|--|-----|----|-----|
| 事業所名 | 放課後等デイサービス事業所 みらくる | 支援プログラム（参考様式） | 作成日 | 7年 | 2月 | 26日 |
| 法人（事業所）理念 | 安心安全な環境を整え、日常生活における基本的動作を習得したり、グループ活動に参加することができるよう適切な支援を行うことを目的とします。可能な限りその地域における生活が継続できるようにする。 | | | | | |
| 支援方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・心身に障害のある児童に対し育成を助長し、集団の中に入っていき力を身につけると共に、将来を見通し自立の促進を図る。 ・障害児および保護者の意向、障害児の適性及び障害の特性その他の事情をふまえて個別支援計画を作成し、これに基づきサービスを提供する。 ・地域及び家庭との連携を行い、教育、福祉、行政、その他の関係機関と連携に努めるものとする。 | | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 0分 | から | 18時 | 0分 | まで |
| | 送迎実施の有無 | | あり | なし | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムや健康状態の把握を行い維持・改善ができるようにする。 ・日常生活において必要な生活習慣を身につけられるようにする。 | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・感覚遊びや制作活動で感覚を養えるようにする。 ・学校休業日はラジオ体操を行い、身体機能の維持に努めている。 ・公園で遊具を使って体を動かしたり、園庭でボール遊びや砂遊び等を行う。 ・得意な事を積極的に取り組めるようにする。 | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動や行事を振り返ったり、友達の写真を見たりして行事の名前や友達や友達の名前を意識できるようにする。 ・季節に合わせた活動や行事を行い、四季を感じられるようにする。 ・製作活動により色・形・重さ・柔らかさなどの感覚を養えるようにする。 | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・ご本人に分かりやすいようにイラストや文字を使ったり、ジェスチャーを使ったりしてコミュニケーションをとる。 ・遊びや様々な活動を通して多くの言葉に触れられるようにする。 ・自分の思いが伝わる経験ができるようにする。 | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員や友達と一緒に遊ぶことやグループ活動を通して他者との関わりや経験ができるようにする。 ・活動を通して達成感を感じられるようにする。 ・公共施設や地域のお店を利用して社会生活にいかせるようにする。 | | | | |
| 家族支援 | 日頃から、保護者とのコミュニケーションを図り児童の特性の共有や自宅での困り事など気軽に相談できる雰囲気づくりに努めている。保護者同士で交流ができる場も設けている。 | 移行支援 | 小学校・中学校・高校など関係機関と連携して情報共有を行う。法人の福祉サービス等の利用を行い体験を行う。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | 教育・福祉・医療・行政・専門機関・相談支援事業所など関係機関との連携を図る。 | 職員の質の向上 | 人権擁護研修、毎月の職員定例会、法人の職員研修、各関係団体主催の研修会参加、自立支援協議会の子供部会参加 | | | |
| 主な行事等 | 花見・夏祭り・秋祭り・門松作り・暮れ市・保護者交流会・公共施設見学（消防署・警察署等）・社会見学など、季節に応じた行事や社会見学等を行い多くの体験ができるように計画。 | | | | | |